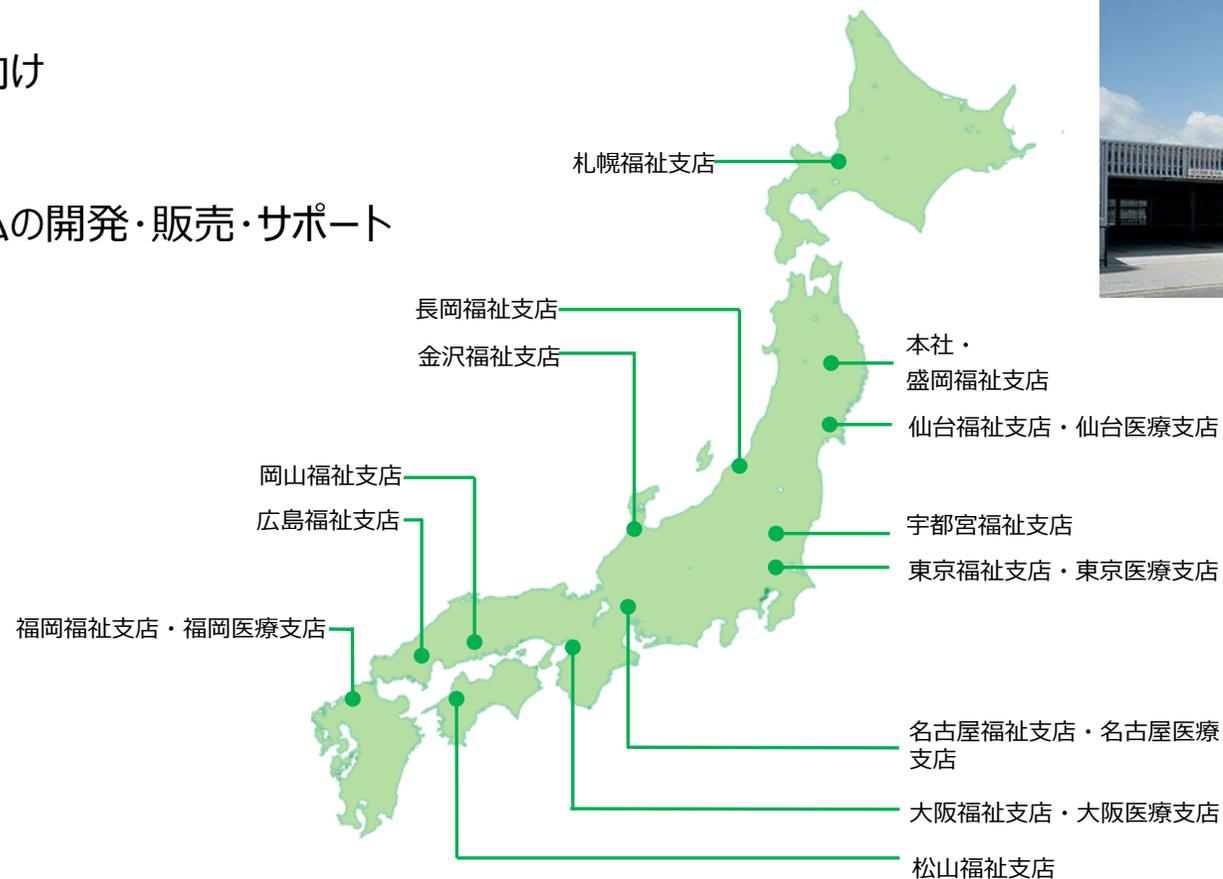


LIFEデータの連動とフィードバックの有効的活用

株式会社ワイズマン
東京福祉支店 支店長
佐藤 亮太

当社のご紹介

名 称 株式会社ワイズマン
所在地 岩手県盛岡市盛岡駅西通2丁目11-1
設 立 1983年6月
資 本 金 1億円
事業内容
・介護・福祉事業所向け
・医療施設向け
・地方自治体向け
コンピューターシステムの開発・販売・サポート



1. 科学的介護情報システム（LIFE）を活用したPDCAサイクル
2. LIFEの推進と加算
3. ワイズマンシステムSPによるLIFEの運用
4. LIFEの今後の動向予測
5. 当社の展望について



科学的介護情報システム（LIFE）を活用した PDCAサイクル

1. 科学的介護情報システム（LIFE）を活用したPDCAサイクル

科学的裏付けに根拠に基づく介護（科学的介護）が推進されています

①エビデンスに基づいた介護の実践

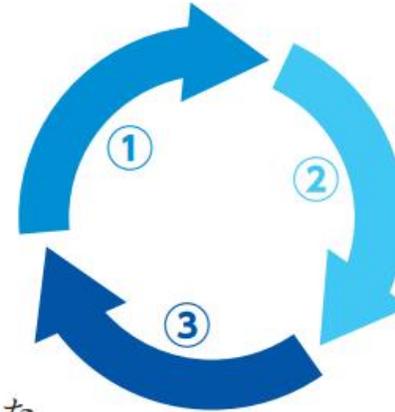
- ▶ 利用者や家族の意向を踏まえ、状態像・目的に合わせてどのようなケア提供をすることが望ましいか等、エビデンスに基づいたケアの提供

②科学的に妥当性のある指標等の現場からの収集・蓄積及び分析

- ▶ 独自に作成した指標ではなく、Barthel Index 等、妥当性が示された指標を用いて現場で評価し、LIFE にデータを登録
- ▶ 登録されたデータを分析し、介護の質の向上に資するエビデンスを創出

③分析の成果を現場にフィードバックすることで、更なる科学的介護を推進

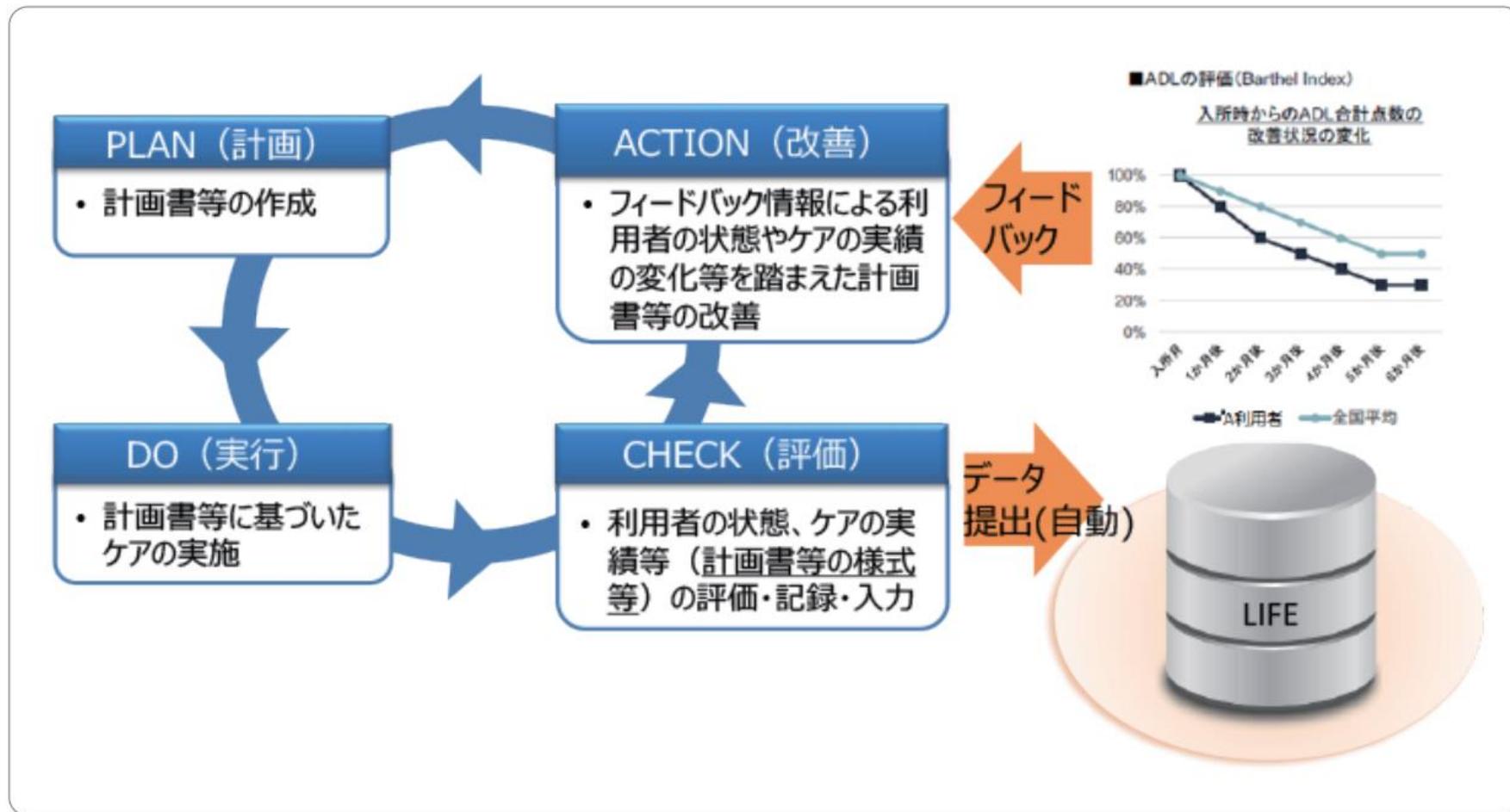
- ▶ LIFE から提供されるフィードバック票を活用し、委員会等で議論の上、施設全体のあり方や利用者のケアのあり方を検討・改善することでPDCA サイクルを推進



出典：「LIFE利活用の手引き」厚生労働省LIFEヘルプサイト (<https://life.mhlw.go.jp/help>)

1. 科学的介護情報システム（LIFE）を活用したPDCAサイクル

LIFEを活用したPDCAサイクルによる、質の高いケアの実現



出典：「LIFE利活用の手引き」厚生労働省LIFEヘルプサイト (<https://life.mhlw.go.jp/help>)

1. 科学的介護情報システム（LIFE）を活用したPDCAサイクル

フィードバックの活用により、ケアの質を向上

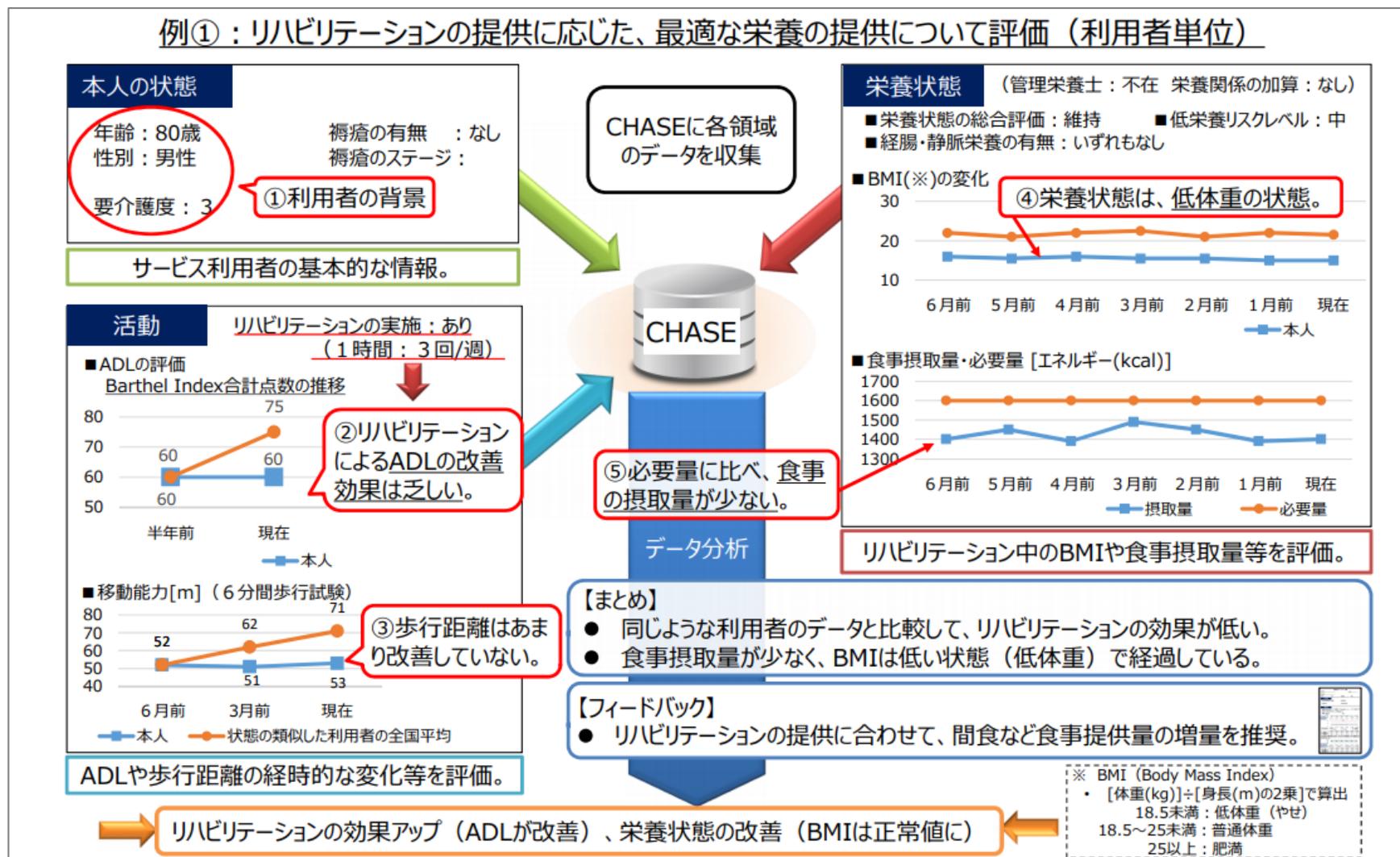
【フィードバック票の概要】

	事業所フィードバック票	利用者フィードバック票
概要	利用者のADLや栄養、口腔機能等に関する状態を事業所・施設単位で分析し、同様の介護保険サービスを提供する他事業所・施設との比較結果や過去からの変化を把握するための帳票です。	ADLや栄養、口腔機能等に関する状態について、自事業所・施設の利用者個別に分析し、要介護度等が同程度のお利用者との比較結果や過去からの変化を把握するための帳票です。
活用目的	自事業所・施設における特性や、利用者の特徴及びケアの特性を認識し、提供するケアの改善に活かすことが可能です。	各利用者のケアの目標や問題点、提供しているケアや状態を把握し、提供するケアによる改善状況を評価し、必要に応じて目標やケアの見直し等を行うことが可能です。
活用例	<ul style="list-style-type: none">● 自事業所・施設の利用者像の把握● ケアの実施状況の把握● ケアの結果の把握● ケアの在り方の見直し● 施設内の管理指標としての活用	<ul style="list-style-type: none">● 利用者像や課題の把握● ケアの実施状況の把握● ケアの結果の把握● 利用者や家族への説明● 職員間での情報共有

出典：「LIFE利活用の手引き」厚生労働省LIFEヘルプサイト (<https://life.mhlw.go.jp/help>)

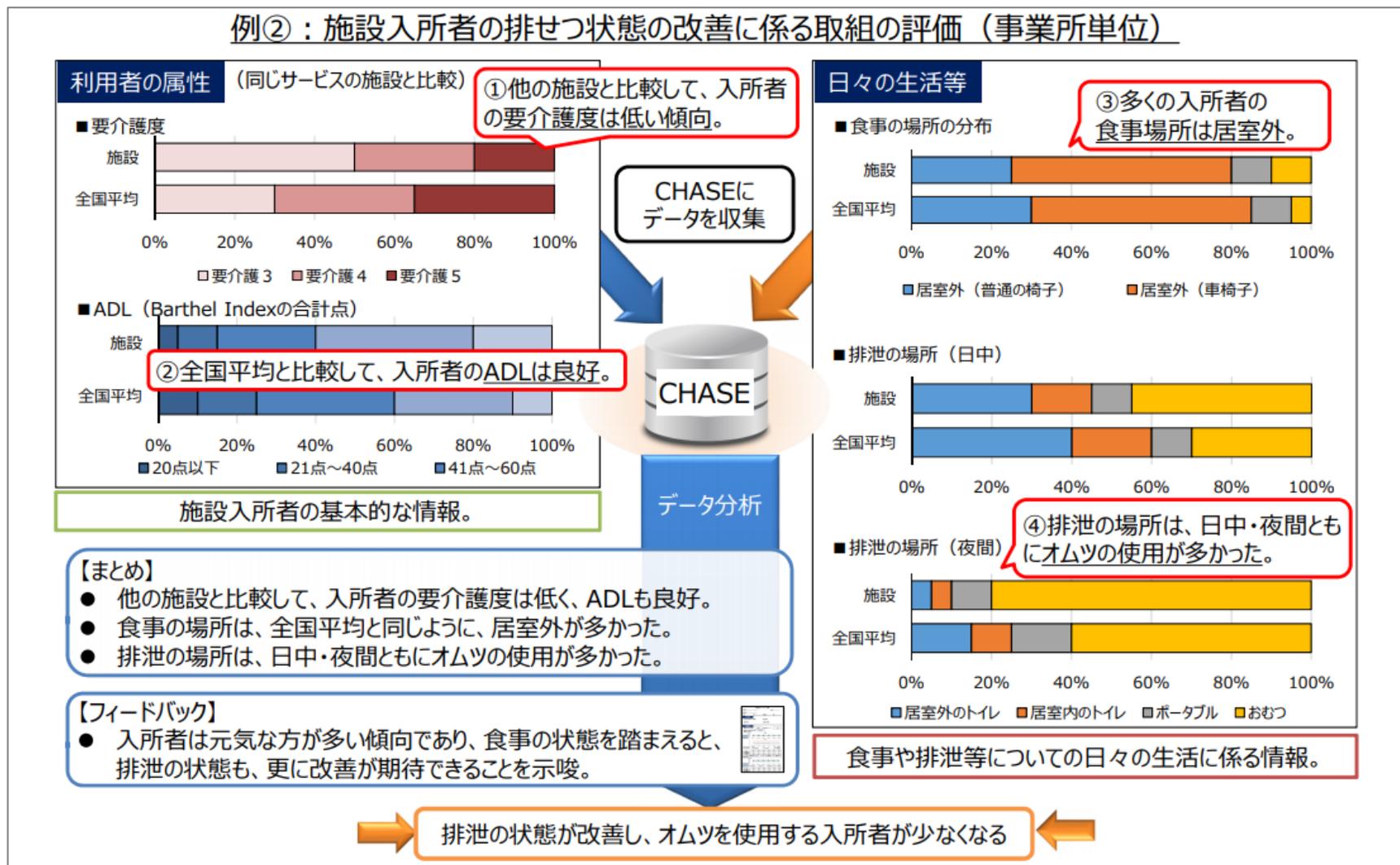
1. 科学的介護情報システム（LIFE）を活用したPDCAサイクル

個別化された自立支援・科学的介護イメージ（利用者）



1. 科学的介護情報システム（LIFE）を活用したPDCAサイクル

個別化された自立支援・科学的介護イメージ（事業所）



1. 科学的介護情報システム（LIFE）を活用したPDCAサイクル

【フィードバックデータについて(LIFE操作説明書 初回フィードバックについて)】

5月10日までのLIFE提出分のフィードバックデータの提供が6月23日から各事業所へ開始

しかし、今回は暫定的に全国データの状況を確認可能な集計表の形式によりフィードバックを行う。

【留意点(抜粋)】

- 今回の集計は、2021年5月10日までに「確定」登録された4月利用分のデータを集計対象としています。
 - 今回の集計は、**全国での集計を暫定的に行っているもの**であり、全サービス共通です
 - PDCAサイクルへの活用については、貴事業所において提供しているサービスに関して実施してください。
 - 今回は全国の集計値のみのフィードバックになりますので、貴事業所の利用者や取組等と比較する等可能な範囲での活用をいただければと思います。
- 各事業所におけるデータの解析も含めて、**今後、順次フィードバック内容を拡充していく予定**です。

経時的なデータを含むフィードバックは、8月以降を予定。

参考：「操作説明書（初回フィードバックについて）」厚生労働省LIFEヘルプサイト (<https://life.mhlw.go.jp/help>)



LIFEの推進と加算

2. LIFEの推進と加算

PDCAサイクルの推進のため、加算の要件にLIFEの活用が含まれています

【LIFEの活用等が要件として含まれる加算一覧（施設・サービス別）】

	科学的介護推進体制加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	個別機能訓練加算(Ⅱ)	ADL維持等加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	リハビリテーションマネジメント計画書情報加算	理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	褥瘡対策指導管理(Ⅱ)	排せつ支援加算(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)	自立支援促進加算	かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ)・(Ⅲ)	薬剤管理指導	栄養マネジメント強化加算	口腔衛生管理加算(Ⅱ)	科学的介護推進体制加算	個別機能訓練加算(Ⅱ)	ADL維持等加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	リハビリテーションマネジメント加算(A)・(B)・(C)	褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	排せつ支援加算(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)	栄養アセスメント加算	口腔機能向上加算(Ⅱ)
介護老人福祉施設	○	○	○			○		○	○			○	○	○	○	○			○	○	○
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	○	○	○			○		○	○			○	○	○	○	○			○	○	○
介護老人保健施設	○			○		○		○	○	○		○	○	○							
介護医療院	○				○		○	○	○		○	○	○	○							
通所介護	○	○	○											○	○	○			○	○	○
地域密着型通所介護	○	○	○											○	○	○			○	○	○
認知症対応型通所介護(予防含む)	○	○	○*											○	○	○*			○	○	○
特定施設入居者生活介護(予防含む)	○	○	○*											○	○	○*			○	○	○
地域密着型特定施設入居者生活介護	○	○	○											○	○	○			○	○	○
認知症対応型共同生活介護(予防を含む)	○													○	○	○			○	○	○
小規模多機能型居宅介護(予防含む)	○													○	○	○			○	○	○
看護小規模多機能型居宅介護	○													○	○	○		○	○	○	○
通所リハビリテーション(予防含む)	○													○*			○*		○	○	○
訪問リハビリテーション														○			○				

出典：「LIFE利活用の手引き」厚生労働省LIFEヘルプサイト (<https://life.mhlw.go.jp/help>)

2. LIFEの推進と加算

LIFEの情報提出には、頻度と猶予期間が定められています(介護保険最新情報vol.938)

【加算ごとのLIFE様式提出頻度・猶予期間】

※介護保険最新情報Vol.973における、一律の8/10までの猶予期間を除く

加算名	対応する様式	主な頻度	猶予期間有無
科学的介護推進体制加算	・科学的介護推進に関する評価	6か月ごと 他	○
個別機能訓練加算(Ⅱ)	・興味関心チェックシート(任意) ・生活機能チェックシート ・個別機能訓練計画書	3か月に1回 他	なし
リハビリテーションマネジメント加算(A)□ リハビリテーションマネジメント加算(B)□	・興味関心チェックシート(任意) ・リハビリテーション計画書 ・リハビリテーション会議録(任意) ・リハビリテーションマネジメントにおけるプロセス管理票(任意) ・生活行為向上リハビリテーション実施計画書(任意)	3か月に1回 他	なし
リハビリテーションマネジメント計画書情報加算	・興味関心チェックシート(任意) ・リハビリテーション計画書 ・リハビリテーション会議録(任意) ・リハビリテーションマネジメントにおけるプロセス管理票(任意) ・生活行為向上リハビリテーション実施計画書(任意)	3か月に1回 他	なし
理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	・興味関心チェックシート(任意) ・リハビリテーション計画書 ・リハビリテーション会議録(任意) ・リハビリテーションマネジメントにおけるプロセス管理票(任意) ・生活行為向上リハビリテーション実施計画書(任意)	3か月に1回 他	なし
栄養マネジメント強化加算	・栄養・摂食嚥下スクリーニング・アセスメント・モニタリング(施設)	3か月に1回 他	○

2. LIFEの推進と加算

LIFEの情報提出には、頻度と猶予期間が定められています(介護保険最新情報vol.938)

【加算ごとのLIFE様式提出頻度・猶予期間】

※介護保険最新情報Vol.973における、一律の8/10までの猶予期間を除く

加算名	対応する様式	主な頻度	猶予期間有無
口腔衛生管理加算(Ⅱ)	・口腔衛生管理加算 様式(実施計画)	3か月に1回 他	なし
口腔機能向上加算(Ⅱ)	・口腔機能向上サービスに関する計画書(様式例)	3か月に1回 他	なし
ADL維持等加算	特定の様式の提示はなし	評価対象利用開始月の翌月から起算して 6月目の月 他	なし
褥瘡マネジメント加算	・褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画書	評価を行った日の属する月 (少なくとも3か月に1回) 他	○
褥瘡対策指導管理(Ⅱ)	・褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画書	評価を行った日の属する月 (少なくとも3か月に1回) 他	なし
排せつ支援加算	・排せつの状態に関するスクリーニング・支援計画書	評価を行った日の属する月 (少なくとも3か月に1回) 他	○
自立支援促進加算	・自立支援促進に関する評価・支援計画書	評価を行った日の属する月 (少なくとも3か月に1回) 他	なし
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ)(Ⅲ)	・薬剤変更等に係る情報提供書	3か月に1回 他	なし
薬剤管理指導	・薬剤変更等に係る情報提供書	3か月に1回 他	なし
栄養アセスメント加算	・栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング(通所・居宅)	3か月に1回 他	なし

2. LIFEの推進と加算

LIFE情報提出イメージ（例：科学的介護推進体制加算）

LIFE提出データの対象年月の翌月10日（4月作成した分は、5月10日）までにLIFEへ提出する

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	～	令和4年4月
ケース① 以前からサービス利用をしている場合	①						④		④
ケース② 途中でサービス利用を停止	①				②				
ケース③ 6月からサービス利用する場合			③				④		④

● = LIFE提出データの対象年月（作成するタイミング）

① 既に利用中の利用者については、「本加算の算定を開始しようとする月」の情報を作成。

② サービスを利用終了する月については、「利用を終了した月」の情報を作成。

③ ①の翌月以降の新規利用者については、「利用を開始した月」の情報を作成。

④ ①③以外に、「**少なくとも6か月ごと**」に前回提出時以降の情報を作成。

2. LIFEの推進と加算

一部加算の猶予期間について

※介護保険最新情報Vol.973における、一律の8/10までの猶予期間を除く

加算	備考
<ul style="list-style-type: none">科学的介護推進体制加算科学的介護推進体制加算Ⅰ科学的介護推進体制加算Ⅱ	<p>令和3年度においては、L I F Eに対応した介護記録システム等を導入するために時間を要する等の事情のある事業所・施設については、一定の経過措置が設けられる。</p> <p>具体的には以下。</p> <ul style="list-style-type: none">令和3年4月から同年9月末日までに本加算の算定を開始する場合は、算定を開始しようとする月の5月後の月の翌月10日までに提出令和3年10月から令和4年2月末日までの間に本加算の算定を開始する場合は、令和4年3月の翌月10日までに提出 <p>当該猶予の適用を必要とする理由及び提出予定時期等を盛り込んだ計画を策定することで、猶予措置の適用を受け本加算の算定ができる（本計画については、指定権者への届出までを求めるものではないが、求められた場合には速やかに提出すること）。</p>
<ul style="list-style-type: none">褥瘡マネジメント加算排せつ支援加算栄養マネジメント強化加算	<p>令和3年度においては、L I F Eに対応した介護記録システム等を導入するために時間を要する等の事情のある事業所・施設については、一定の経過措置期間を設けられる。</p> <p>具体的には、令和4年4月10日までに提出することを可能とする猶予期間を設けられる。</p> <p>当該猶予期間の適用を必要とする理由及び提出予定時期等を盛り込んだ計画を策定することで、猶予措置の適用を受け、本加算を算定できる。</p>



ワイズマンシステムSPによるLIFEの運用

3. ワイズマンシステムSPによるLIFEの運用

入力が完了したタイミングで、対象利用者・様式の情報を一括で出力します

介護老人保健施設管理システム SP(77記録) [介護老人保健施設ワイス苑]

LIFE用CSV出力

ヘルプ 実行前確認 実行 閉じる

CSV出力設定 実行履歴

対象期間 令和03年04月01日 木 < 今日 > ~ 令和03年04月30日 金 < 今日 > 一覧表示

事業所番号 3300000001 介護老人保健施設ワイス苑 (通所リハ)

出力対象者 現利用者のみ 死亡者を除く

出力対象 令和03年度様式で出力 「対象期間」内の情報を出力する 全選択 全解除

利用者情報 科学的介護推進情報 科学的介護(既往歴) 科学的介護(服薬) 口腔衛生管理情報

口腔機能向上管理情報 興味関心チェック情報 リハビリ計画書1 リハビリ計画書2 リハビリ会議録

フォト管理票 生活行為向上計画 褥瘡マネジメント情報 排せつ支援情報 自立支援促進情報

薬剤変更情報 薬剤変更(既往歴) その他情報

全選択 全解除 表示順 フリガナ 昇順 降順 表示項目 利用者コード フリガナ 件数 96件

選択	利用者コード	フリガナ	利用者名	保険者	被保険者番号	介護度	受付サービス	科学的介護推進情報	科学的介護(既往歴)	利
<input type="checkbox"/>	00001322	117オキ セイジ	青木 誠司	盛岡市	0000001322	要介護1	入所	R03.04.01	R03.04.01	R
<input type="checkbox"/>	00000108	アイ ツキ	愛知 月子	宮古市	4850000000		訪問リハ			
<input type="checkbox"/>	00013360	アイ トヨ	愛知 豊子	盛岡市	9846846384	要介護3	入所			
<input type="checkbox"/>	00004341	アイ ヨウウ	愛知 佑三	盛岡市	0080105555	要介護1	通所リハ			
<input type="checkbox"/>	00000985	アイリ キョウ	青森 九夫	宮古市	0001920159	要介護1	通所リハ			
<input type="checkbox"/>	00000059	アイリ ヒロ	青森 ヒロ	盛岡市	0009435902	要介護1	通所リハ			
<input type="checkbox"/>	00000723	アキ スズ	秋田 すず	盛岡市	1222200000	要介護2	訪問リハ			
<input type="checkbox"/>	00000723	アキ スズ	秋田 すず	盛岡市	1222200000	要介護2	通所リハ			
<input type="checkbox"/>	00000639	アキ セイ	秋田 聖	盛岡市	2562211111	要介護1	通所リハ			
<input type="checkbox"/>	00000012	イテ イロウ	岩手 一郎	盛岡市	1120324878	要介護1	訪問リハ			
<input type="checkbox"/>	00000012	イテ イロウ	岩手 一郎	盛岡市	1120324878	要介護1	通所リハ			
<input type="checkbox"/>	00000822	イテ ウメ	岩手 ウメ	盛岡市	0000000822	要介護3	訪問リハ			
<input type="checkbox"/>	00000822	イテ ウメ	岩手 ウメ	盛岡市	0000000822	要介護3	通所リハ			
<input type="checkbox"/>	00003493	イテ サメ	岩手 サメ	盛岡市	0000003493	要支援2	通所リハ			
<input type="checkbox"/>	00002918	イテ ツキ	岩手 月子	盛岡市	0000002918	要支援2	通所リハ			
<input type="checkbox"/>	00002916	イテ 華子	岩手 華子	盛岡市	0320111111	要介護3	入所			
<input type="checkbox"/>	00003060	イテウイ イロウ	岩手川 一郎	盛岡市	0320113060	要介護2	通所リハ			
<input type="checkbox"/>	00000001	エロウ イロ	英国 一子	太田市	1041204606	要支援1	訪問リハ			
<input type="checkbox"/>	00000001	エロウ イロ	英国 一子	太田市	1041204606	要支援1	通所リハ			

出力前の事前チェック可能
(必須入力の不足など)

作成日 R03.04.26 10:26:19

出力対象 令和03年度 科学的介護推進情報

事業所番号 0000125674

利用者内訳 15-情報 「機能」

表示順 フリガナ 昇順 降順 表示項目 利用者コード フリガナ 保険者 被保険者番号 受付サービス

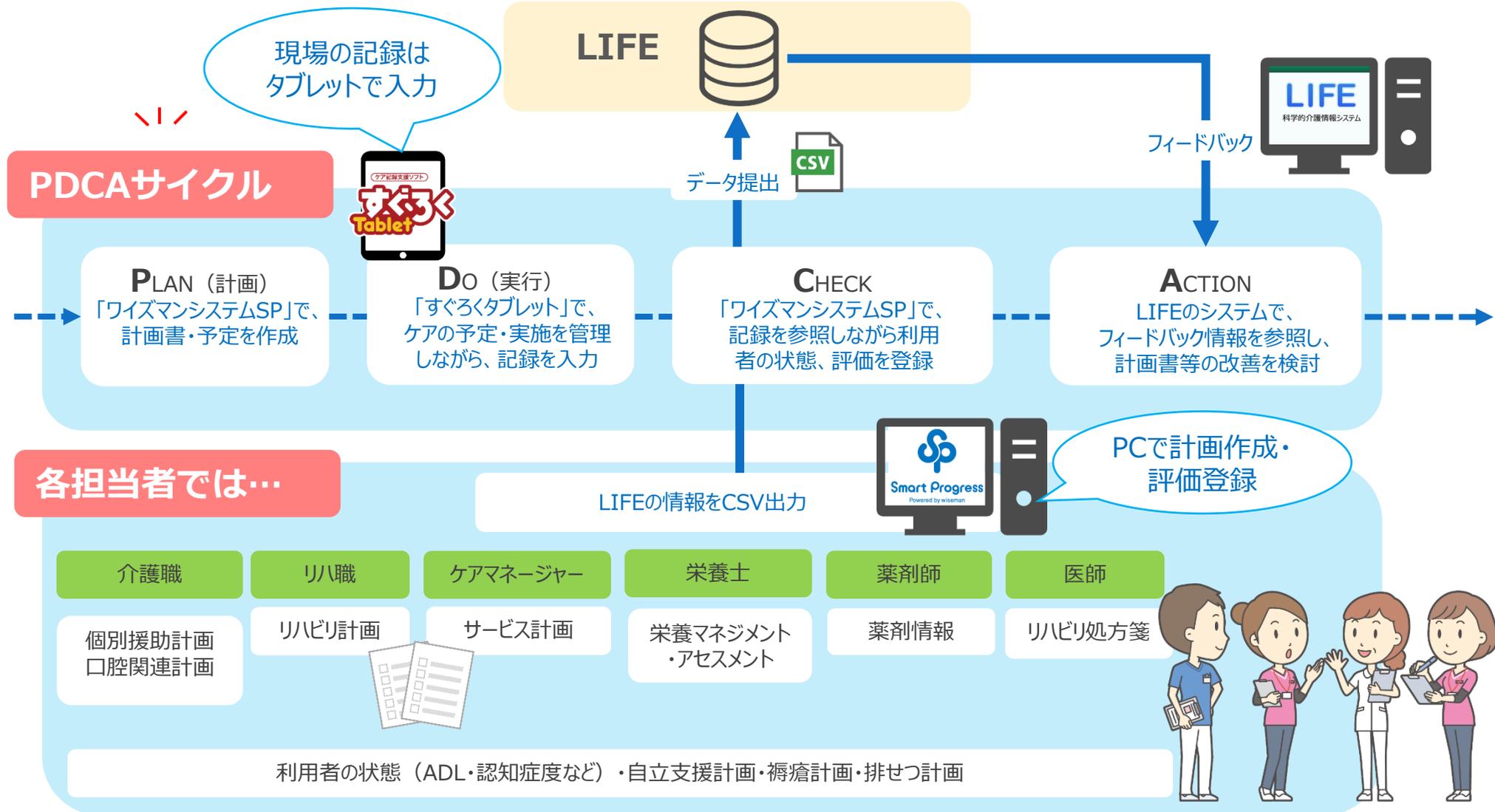
利用者名	区分	15-内容	機能名	日付	15-項目名称
愛知 梅子	15-	条件付き必須項目に不足があります。	ケア- 保守画面		提供栄養量 (エネルギー)
愛知 梅子	15-	条件付き必須項目に不足があります。	ケア- 保守画面		提供栄養量 (たんぱく質)
愛知 梅子	15-	条件付き必須項目に不足があります。	ケア- 保守画面		必要栄養量 (エネルギー)
愛知 梅子	15-	条件付き必須項目に不足があります。	ケア- 保守画面		必要栄養量 (たんぱく質)
愛知 梅子	15-	必須項目に不足があります。(確定取込時)	ケア- 保守画面		誤嚥性肺炎の発症・既往の評価日
愛知 梅子	15-	必須項目に不足があります。(確定取込時)	利用者状況(ADL状況)		2)意思疎通 (Communication)
愛知 梅子	15-	必須項目に不足があります。(確定取込時)	利用者状況(ADL状況)		3 日常的な物事に関心を示さない
愛知 梅子	15-	必須項目に不足があります。(確定取込時)	利用者状況(ADL状況)		4 特別な理由がないのに夜中起き出す
愛知 梅子	15-	必須項目に不足があります。(確定取込時)	利用者状況(ADL状況)		5 特別な根拠もなしに言いがかりをつける

↓ 出力ファイルイメージ

名前	更新日時	種類
FORM_0002_2021_202104_20210726203451.csv	2021/07/26 20:34	Microsoft Excel CSV ファイル
FORM_0210_2021_202104_20210726203451.csv	2021/07/26 20:34	Microsoft Excel CSV ファイル
FORM_0220_2021_202104_20210726203451.csv	2021/07/26 20:34	Microsoft Excel CSV ファイル
FORM_0310_2021_202104_20210726203451.csv	2021/07/26 20:34	Microsoft Excel CSV ファイル
FORM_0430_2021_202104_20210726203451.csv	2021/07/26 20:34	Microsoft Excel CSV ファイル
FORM_0440_2021_202104_20210726203451.csv	2021/07/26 20:34	Microsoft Excel CSV ファイル
FORM_0500_2021_202104_20210726203451.csv	2021/07/26 20:34	Microsoft Excel CSV ファイル
FORM_0600_2021_202104_20210726203451.csv	2021/07/26 20:34	Microsoft Excel CSV ファイル
FORM_0800_2021_202104_20210726203451.csv	2021/07/26 20:34	Microsoft Excel CSV ファイル
FORM_0801_2021_202104_20210726203451.csv	2021/07/26 20:34	Microsoft Excel CSV ファイル
FORM_8000_2021_202104_20210726203451.csv	2021/07/26 20:34	Microsoft Excel CSV ファイル
SERVICE_USER_INFO_202104_20210726203451.csv	2021/07/26 20:34	Microsoft Excel CSV ファイル

3. ワイズマンシステムSPによるLIFEの運用

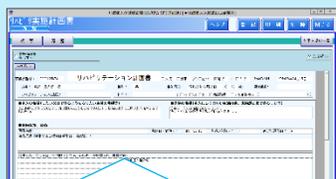
ワイズマンが、LIFE運用による科学的介護の実現を支援します



3. ワイズマンシステムSPによるLIFEの運用

PDCAサイクル（計画・ケア実施・評価・改善）を総合的にカバー

運用イメージ



①各種計画を作成

ワークシート

②計画に沿ったケア予定をワークシートで作成



ワークシート

③タブレットのワークシートで予定確認、実施登録、記録入力



④記録等を参照しながらLIFEの情報を登録し、CSVを出力



LIFE



⑤LIFEでCSV取込。フィードバックが出たら確認し、計画の改善を検討。



LIFE



LIFEの今後の動向予測

4. LIFEの今後の動向予測

LIFEに関連した国の動向①

科学的介護は試行錯誤しながら進化させていくもの
 国は継続してLIFEによる自立支援のための効果検証・フィードバックの促進を行っていく

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
自立支援・重度化防止等につながる科学的介護の推進	CHASEフィードバック機能の開発 NDB・介護DB連結解析開始	● 事業所・利用者単位のフィードバックや解析による科学的介護の推進（2021年度～） CHASE等による自立支援等の効果を検証 VISIT・CHASEを一体的運用、介護DBとの連結解析開始	新たな情報収集システムに向けた更なるデータ項目の整理	次期システムの開発	次期システムの運用開始によるデータに基づく更なる科学的介護の実現（2024年度～）	
	※ 2021年度から、CHASE・VISITを一体的に運用するにあたって、科学的介護の理解と浸透を図る観点から、以下の統一した名称を用いる。 科学的介護情報システム（Long-term care Information system For Evidence; LIFE ライフ）					

引用元：データヘルス改革に関する工程表について 令和3年6月4日 厚生労働省

4. LIFEの今後の動向予測

LIFEに関連した国の動向②

次期法改正では対象サービスとして
訪問系（訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ）、
居宅への拡張を検討していく

引用元：令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査
（令和3年度調査）の実施内容について（案）令和3年3月24日 社保審
－介護給付費分科会

（別紙2）

1. 調査名

LIFE を活用した取組状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所における LIFE の活用可能性の検証に関する調査研究事業（案）

2. 調査目的

持続可能な介護保険制度の実現に向けて、より効果的・効率的な介護保険サービスの提供について検討を進める必要があり、介護サービスの質の評価を行うことが求められている。令和3年度介護報酬改定において、LIFE へのデータ提出とフィードバックの活用によるPDCA サイクルの推進とケアの質の向上を図るため、事業所の全利用者に係る事業所単位での取組や、既存の口腔・栄養や機能訓練に関する加算等における取組に加えた利用者単位での更なる取組に対する評価を創設した。

本事業では、LIFE を活用した取組（特にリハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養等の多職種連携）についてその取組状況を把握するとともに、さらなる LIFE の活用に向けた課題の検討等を行う。

これに加えて、次期介護報酬改定に向けて、訪問系サービスおよび居宅介護支援事業所における LIFE を活用した介護の質の向上に資するような PDCA サイクルの推進について、モデル的に調査を実施し、具体的なユースケース等の検討を行うとともに、LIFE 導入における課題等について検証を行うことを目的とする。

3. 検証のポイント

- LIFE を活用した取組状況の把握とさらなる活用に向けた課題の検討。
- 訪問系サービスおよび居宅介護支援事業所における LIFE の活用可能性の検証。

4. 調査対象

- 施設系・通所系・多機能系・居住系サービス
- 訪問系サービス（訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーション）
- 居宅介護支援事業所

5. 調査項目

- LIFE を活用した取組（特にリハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養等の多職種連携について）の実態把握
- LIFE の導入および活用に係る事例の収集と課題の検証
- フィードバックの利活用方法および介護サービスの質に係る効果の検証
- 介護報酬における訪問系サービスおよび居宅介護支援事業所への LIFE の拡充に係る課題の検証

4. LIFEの今後の動向予測

LIFEに関連した国の動向③

利用者個人が自身の医療等情報の把握できることによる日常生活改善のために、次期LIFEシステムではマイナポータルとの連携を進めていく（PHRの整備）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
電子カルテ・介護情報等						
検査結果情報 アレルギー情報		技術的・実務的課題等を踏まえつつ、閲覧可能な情報の優先順位付けを検討	システム要件の整理、システム改修等		● マイナポータル等で閲覧可能（2024年度～）	
告知済傷病名		技術的・実務的課題等を踏まえつつ、傷病名の告知状況を確認できる方法を検討	告知済傷病名提供の具体的な仕組みを検討、システム要件の整理、システム改修等		● マイナポータル等で閲覧可能（2024年度～）	
画像情報		技術的・実務的課題等を踏まえつつ、自身の健康管理に有用な観点からキー画像等画像情報の範囲や交換の仕組みを検討	システム要件の整理、システム改修等		● マイナポータル等で閲覧可能（2024年度～）	
介護情報	CHASEフィードバック機能の開発	CHASE等の解析結果の利用者単位等のフィードバック（2021年度～）	CHASE等による自立支援等の効果を検証		● 次期システムの運用開始によるデータに基づく更なるフィードバック等（2024年度～）	
		技術的・実務的な課題等を踏まえ、利用者や介護現場で必要となる情報の範囲や、全国的に介護情報を閲覧可能とするための仕組みを検討		● システム要件の整理、システム改修等	● マイナポータル等で閲覧可能（2024年度以降順次～）	
その他の情報		技術的・実務的課題等を踏まえつつ、閲覧可能な情報の優先順位を行い、システム要件を整理、システム改修等			●	● マイナポータル等で閲覧可能（2025年度以降順次～）

引用元：データヘルス改革に関する工程表について
令和3年6月4日 厚生労働省

4. LIFEの今後の動向予測

LIFEに関連した国の動向：まとめ

厚労省はデータ利活用による効果的・効率的な医療・福祉サービスの確保に向けて、さらなる科学的介護の推進を目指す

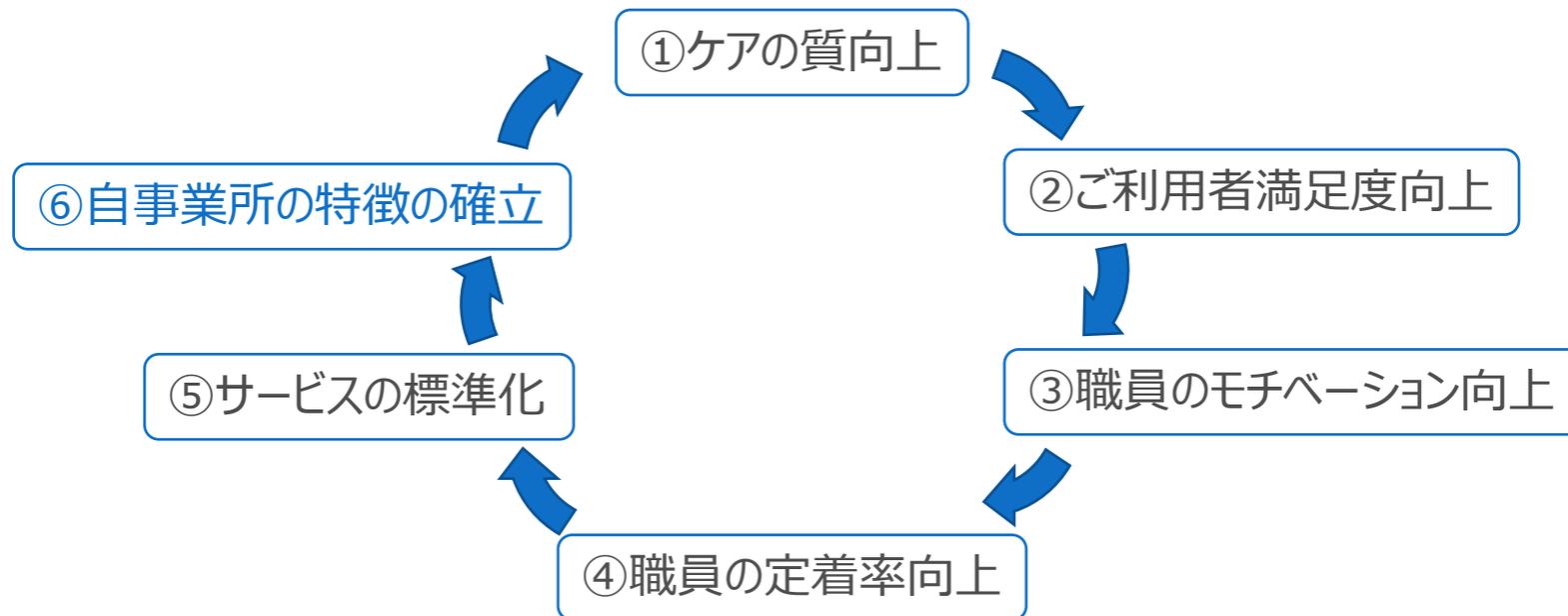
- LIFEによる効果検証・フィードバックの促進
- 次期改正での対象サービス（訪問系、居宅）の拡張
- マイナポータルとの連携によるPHRの整備

事業所に対するLIFEデータ提出がなお一層推進されていくと予想される

4. LIFEの今後の動向予測

LIFEに関連した介護事業所様の動向①

国の自立支援のためのサービス・加算範囲拡張・アウトカム評価の推進により、事業所は今まで以上にPDCAによるケアの質向上を目指すことが求められる
→中長期目線に立った自事業所の特徴を確立していくことが重要



4. LIFEの今後の動向予測

LIFEに関連した介護事業所様の動向②

介護事業所は地域における事業継続を目指す中で、地域の中での自事業所の特徴を確立していくことが重要となる

特にエビデンスに基づく自事業所の強み分析と他事業所への発信が課題となる

《全国取り組み例》

- ・介護事業所間や民間企業間での独自のLIFEデータ利活用を進める
- ・自事業所の特徴に合わせて、LIFEデータを分析し、地域へ発信していく

《地域での介護関係者におけるLIFE活用の推進検討事例》



引用元：Joint,2021/7/15

《介護事業所とベンダー間におけるLIFE運用における業務改善サービス提供事例》



引用元：Yahoo!ニュース,2021/7/15

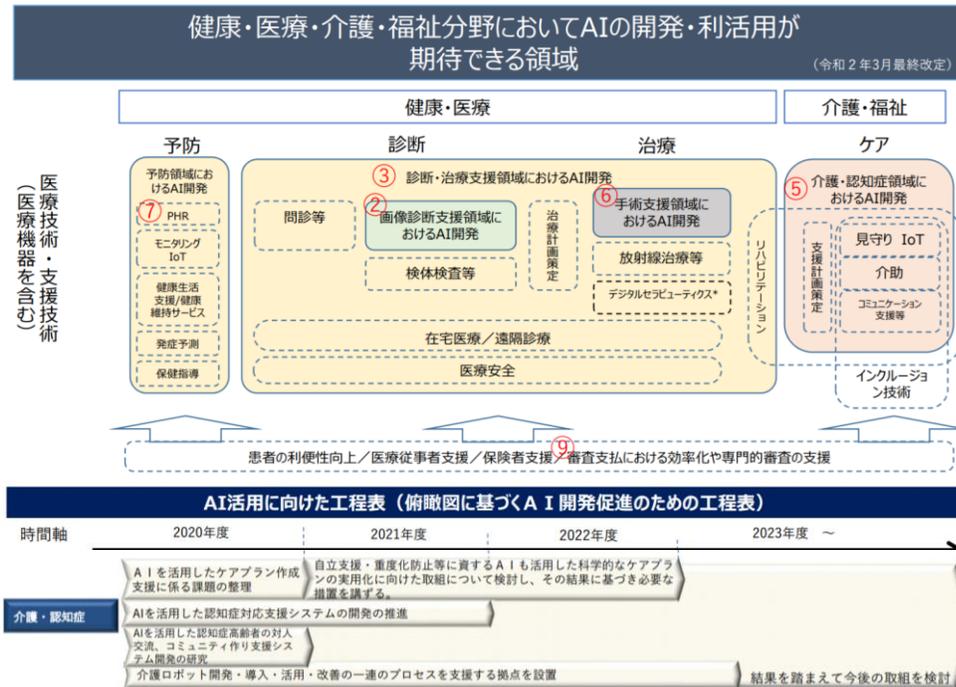
4. LIFEの今後の動向予測

LIFEに関連した介護事業所様の動向③

介護人材が不足する中、今いる職員でケアの質を上げることが必要となる
 そのためにAI・IoTを活用し、職員の業務負担軽減を図ることが重要となる

《AI・IoTを活用した商品事例》

- ・AIを活用した業務改善の支援
- ・各種センサーによるLIFEアセスメント情報の自動取得



引用元：保健医療分野 AI 開発加速コンソーシアム 議論の整理と今後の方向性（令和元年6月28日策定）を踏まえた工程表について、令和2年6月18日、保健医療分野 AI 開発加速コンソーシアム

4. LIFEの今後の動向予測

LIFEに関連した介護事業所様の動向：まとめ

自立支援促進・重度化防止のためのLIFEに関する対応の中で、
自事業所における安定収益と人材確保のための課題解決を進める

- PDCAによるケア質向上
- 自事業所の特徴の分析と発信
- 職員の業務負担の軽減

上記課題に対して運用フローの改善も含めたICT活用が重要となる



当社の展望について

5. 当社の展望について

①お客様のPDCAサイクルの推進に役立つシステム強化を継続する

- ✓ LIFEへのデータ提出業務に対する完全対応（福祉・医療共に対応済み）
- ✓ LIFEへのデータ入力～提出における進捗管理機能のシステム実装など

②AI・IoTを活用したプラン策定支援、記録の自動化を実現する

- ✓ AIを活用したケアプラン策定の支援
- ✓ 各種センサーによる記録、LIFE等のアセスメント情報の自動取得
- ✓ データ利活用による気づき情報の提供

③当社の介護システム導入実績や業務支援のノウハウを活かし、 国の研究事業等に積極的に関与していく

- ✓ ICT活用によるケアの成果と職員の負担軽減という観点での主張発信



ご清聴ありがとうございました。

 **wiseman**



ERPナビなら企業経営の課題を解決する製品が必ず見つかります

URL <https://www.otsuka-shokai.co.jp/erpnavi/>

ERPナビ



ERPナビとは

大塚商会が運営する、基幹業務システム・ERPの情報サイトです。新製品や新機能の情報掲載、導入事例を紹介する動画の配信、法改正など注目すべきテーマへの対策、最新のIT情報、専門家によるコラムなど、ERP関連の情報を幅広く発信しています。

ERPナビの特長

- 約160点を超える製品をご紹介します
- 40種類の製品カタログを無料でダウンロード可能
- 約200件の導入事例が閲覧可能
- お見積り、訪問デモンストレーション依頼もERPナビから！

多彩な切り口でシステムが探せる！

業種・業界をはじめ、会計・財務、販売・購買、人事・給与などの業務内容や、人事・総務・経理・営業といった部門の切り口もご用意しています。多彩な探し方でお客様が求める製品情報まで誘導します。

大塚商会の基幹業務システム



時代の変化と共に進化を続けてきた「SMILE」シリーズに、新シリーズが誕生しました。新たな機能も追加され、より強力にお客様の業務をバックアップします。

業種・業界で探す



業務で探す



部門で探す



業種・業務・部門別にさまざまなカテゴリーから、目的にあったシステム・アプリケーションを探せます。

さらに詳しく！
業種に特化した専門サイト



製造業向け
生産管理ナビ



医療・介護業界向け
医療・介護ナビ



アパレル・ライフスタイル業向け
ライフデザインナビ



●会社名、製品名などは、各社または各団体の商標もしくは登録商標です。 ●この資料の内容は、予告なく変更する場合があります。
●この資料の記載内容は2021年1月のものです。 Copyright© 2021 OTSUKA CORPORATION All Rights Reserved.

ERPNAVIへは、パソコン・タブレット・スマートフォンからも簡単に！

ERPNAVI

ERPナビ



株式会社 大塚商会

<https://www.otsuka-shokai.co.jp/erpnavi/>

業種SIプロモーション部 0120(220)449

営業時間 / 9:00~17:30(土・日・祝日を除く)
東京本社 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4
札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡